

あしなが発第1448号
2020年4月1日

各高等学校長様
各高等専門学校長様

一般財団法人あしなが育英会
会長 玉井義臣
(公印省略)

高校奨学生在学募集、大学と専修・各種学校奨学生予約募集について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

あしなが育英会は、保護者などが病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または保護者が著しい障害を負っている家庭の子どもたちに奨学金を交付して、進学援助を行っております。設立以来32年間に約4万9千人の遺児を高等学校・高等専門学校、大学、大学院、専修・各種学校に進学させることができました。これもひとえに貴職はじめ多くの継続ご寄付者「あしながさん」のご支援の賜と深謝いたしております。

しかし、依然として遺児家庭の貧困状況は解消されず、経済的理由で上の学校への進学を断念せざるを得ない子どもが後を絶ちません。そこで、あしなが育英会は2018年4月から、発足以来初めての奨学金給付制度を開始しました。

つきましては、ご繁忙のりから甚だ恐縮でございますが、同封の「高等学校奨学生在学募集のしおり」、「大学奨学生予約募集のしおり」、「専修学校・各種学校奨学生予約募集のしおり」をご高覧のうえ、貴校在学の対象となる生徒で本会奨学金を希望する生徒がおりましたら、申請の手続きをするようご指導賜りたくお願い申し上げます。

また、申請の際は在学証明書や推薦書の作成でお手数をおかけ致しますが、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。 敬具

1. 募集のしおり・申請書、チラシをそれぞれ1部ずつ同封しました。

チラシは恐れ入りますが必要部数をコピーして該当する生徒に配布していただければ誠に幸いに存じます。

また、ポスターは現在作成中のため、4月中旬に改めてお送りします。届きましたらご掲示いただければ幸いです。

2. 奨学生希望者が2人以上の場合には、ご連絡ください。必要部数をすぐにお送りいたします。なお、申請書は以下の本会ホームページからダウンロードすることもできます。

【お問い合わせ先】 一般財団法人あしなが育英会 学生事業部 奨学課
〒102-8639 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階
電話 (03)3221-0888 FAX (03)3221-7676
E-mail:shougaku@ashinaga.org <http://www.ashinaga.org>

1. 事業の目的

あしなが育英会は、保護者（父または母など）が病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または著しい障害を負っている家庭の子どもたちに奨学金を交付して、進学援助を行うと共に教育指導と心のケアを行い、もって「暖かい心」「広い視野」「行動力」「国際性」を兼ね備え人類社会に貢献する人材を育成することを目的としています。

2. 設立のいきさつ

あしなが育英会は、同じ境遇の遺児たちによる街頭募金などの“汗”と、市民のあたたかい“心”によって発足しました。1984年、街頭募金やあしながさん（継続的なご寄付者）の支援によって進学できた交通遺児たちは、「恩返し運動」で災害遺児育英運動を開始し、1988年から「災害遺児の高校進学をすすめる会」による奨学金制度を発足させました。

さらに、進学できた災害遺児が中心となり、病気遺児たちの奨学金制度づくりに取り組み、1992年4月に「病気遺児の高校進学を支援する会」による奨学金制度が発足しました。1993年4月、両会は合併し新しく「あしなが育英会」（玉井義臣会長）としてスタートしました。これによりすべての遺児（交通遺児は、交通遺児育英会を利用）の育英制度が整うこととなりました。

2018年4月より発足以来初めての奨学金給付制度を開始し、2019年4月からは事業拡大に伴い「任意団体」から「一般財団法人」へ移行しました。

3. 実績等

1988年4月以来32年間で4万9千人に累計547億円の奨学金を交付しました。

2019年度は新規に高等学校・高等専門学校生1,755人、大学生915人、専修・各種学校生383人、大学院生28人の計3,081人を奨学生として採用しました。奨学生数は前年から615人増加し、年間で6,551人に約48億円の奨学金を交付しました。（2020年2月10日現在）。

奨学金の他に、神戸、東京、仙台、石巻、陸前高田の「レインボーハウス（虹の家）」では、小中学生の遺児や保護者に対する心のケア活動を実施。夏休みの「奨学生のつどい」では、高校生、大学生、専門学校生らに対する教育事業を行っています。

また、学生寮「あしなが心塾」（東京都日野市）と「虹の心塾」（兵庫県神戸市）を運営しています。生活困窮世帯の遺児でも大学進学できるよう、朝夕食付で寮費は1万円です。

4. 奨学生の種類・月額・募集人数＝2020年度

奨学生の種類		月額	募集人数
高等学校奨学生 (高専1～3年生を含む)	国公立	4万5千円(内 貸与2万5千円・給付2万円)	予約(中3生) 1,500人
	私立	5万円(内 貸与3万円・給付2万円)	在学(全学年) 650人
大学奨学生 (短期大学を含む)	一般	7万円(内 貸与4万円・給付3万円)	予約(高3生) 600人
	特別	8万円(内 貸与5万円・給付3万円)	在学(全学年) 500人
専修・各種学校奨学生 (高専4,5年生を含む)	一律	7万円(内 貸与4万円・給付3万円)	予約(高3生) 130人 在学(全学年) 80人
大学院奨学生	一律	12万円(内 貸与8万円・給付4万円)	(前・後期1年生) 35人

※私立高校入学一時金(貸与30万円)・・・高校奨学生予約採用者対象(300人)

※私立大学入学一時金(貸与40万円)・・・大学奨学生予約採用者対象(170人)

※進学仕度一時金(40万円)・・・進学予定の高校奨学生3年生対象に貸与(450人)

5. 奨学生採用の条件

保護者が病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または1～5級の障害認定を受けており、経済的な援助を必要している25歳未満の子ども（※）で、次の条件に該当するもの。

- (1) 高等学校奨学生は、高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部、3年制の専修学校高等課程（大学受験資格を取得できる）に在学する生徒であること。
- (2) 大学奨学生は、大学または短期大学に在学する学生であること。
- (3) 専修学校および各種学校奨学生は、修業年限1年以上の専修学校専門課程または各種学校（無認可校は対象外）、または高等専門学校の4・5年生に在学する生徒であること。

※ 1995年（平成7年）4月2日以降に生まれた方

6. 奨学金の返還

奨学金のうち貸与部分は、送金が終了した6か月後から、年1回・半年に1回・毎月のいずれかの方法で20年以内に無利子で返還していただきます。返還が困難な方の相談も随時受け付けています。

7. 奨学生のつどい

(1) 高校奨学生のつどい

高校奨学生を対象に2泊3日の日程で夏休みに開催しています（全国8会場）。野外活動や語り合いなどを通しての仲間づくり、進路や夢について考えるプログラムも設けています。

(2) 大学奨学生、専修・各種学校奨学生のつどい

全国の大学および専修・各種学校奨学生1～2年生を対象に夏休みに開催します。卒業生や著名人の講演などもあり、より良い学生生活を送るためにどうするかを考える機会になっています。

8. 機関紙「NEW あしながファミリー」・ホームページ

本会の活動状況、先輩の社会体験、お母さん方の様子、奨学生が学校や家庭で頑張っている様子などを満載した全国の奨学生・保護者とご支援者と本会を結ぶ「心の交流新聞」です。

また、ホームページ www.ashinaga.org でもさまざまな情報発信をしています。

9. レインボーハウス（神戸・東京・仙台・石巻・陸前高田）活動

神戸と東京の「レインボーハウス」では、遺児とその家族の心を癒す活動を続けています。

2011年3月の東日本大震災の遺児には、特別一時金として282万円を2,083人に給付。仙台・石巻・陸前高田に「レインボーハウス」を2014年度に開設し、ケア活動をすすめています。

10. 学生寮「あしなが心塾」（東京）・「虹の心塾」（神戸）

「あしなが心塾（東京都日野市）」と「虹の心塾（兵庫県神戸市）」の2つの学生寮を運営しています。寮（塾）費は、家具・寝具など完備で光熱費なども含め朝夕の2食付きで月1万円です。塾生たちが将来、厳しい格差社会を生き抜き、「世のため、人のため」に貢献する人材に育つようにとの期待を込め、塾には、挨拶・礼儀・規律を重んじるルールや、実力を養成する独自のカリキュラムがあります。収容人員は「あしなが心塾」180人、「虹の心塾」50人です。

お問い合わせ 一般財団法人あしなが育英会

〒102-8639 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館 4階

電話（03）3221-0888 FAX 03-3221-7676 www.ashinaga.org

※このしおりは奨学金申請後も大切に保管してください

高校・高専在學生と保護者のみなさんへ

2004

あしなが高校奨学金 (無利子貸与^{たいよ}給_付)

高校奨学生在学募集のしおり 【2020年度】

申込みできる方

高等学校（定時制・通信制を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校や5年一貫制高等学校の1～3年生、大学受験資格を得られる3年制の専修学校高等課程に在学していて、次にあてはまる生徒。

保護者（父または母など）が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または保護者が1級～5級の障害認定（注1）を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。

（注1）次の障害認定を受けている場合をいいます。

身体障害者福祉法、国民年金法、厚生年金保険法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、労働者災害補償保険法に定める第1級から第5級



募集人数

650人程度

申請のしめきり

1次=2020年 5月20日

2次= // 9月30日

3次= // 12月15日

※いずれも消印有効

ASHINAGA
あしなが育英会

奨学金の内容

この奨学金は、「無利子貸与+給付」型です。貸与のみ、給付のみの選択はできません。

貸与部分は卒業の半年後から20年以内に返還していただきます。経済的事情などで返還困難であることが認められた場合は、返還を先に延ばすことができます（詳しくは3ページ）。

1. 奨学金の金額

(1)国公立校生=月額45,000円（うち貸与25,000円、給付20,000円）

(2)私立校生=月額50,000円（うち貸与30,000円、給付20,000円）

2. 奨学金を受けられる期間

1次・2次採用者は2020年4月分から卒業（最短修業年限）まで。ただし、3次採用者は10月分から卒業まで。

3. 送金方法

3か月ごとに3か月分の奨学金を、直接本人名義のゆうちょ銀行の口座に送金します。

○専攻科は専修・各種学校奨学金（在学募集）に申請してください。

お問い合わせ・提出書類送付先 一般財団法人あしなが育英会 奨学課

〒102-8639 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階

FAX (03)3221-7676 E-mail shougaku@ashinaga.org ホームページ www.ashinaga.org

フリーダイヤル 0120-77-8565（平日9時～17時）

※このしおりは奨学金申請後も大切に保管してください

大学・短大進学予定のみなさんへ 2004

あしなが大学奨学金 (無利子貸与^{たいよ}給^付)

大学奨学生予約募集のしおり 【2021年度進学者用】

申込みできる方

2021年度に大学または短期大学（外国大学を除く）の第1学年に進学を希望している高校3年生等で、次にあてはまる生徒。

保護者（父または母など）が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または保護者が1級から5級の障害認定（注1）を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。

（注1）次の障害認定を受けている場合をいいます。

身体障害者福祉法、国民年金法、厚生年金保険法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、労働者災害補償保険法に定める第1級から第5級

※大学奨学生予約募集と、専修・各種学校奨学生予約募集とは同時に申請はできません。

募集人数

600人程度

申請のしめきり

2020年6月20日（消印有効）

奨学金の内容

この奨学金は「無利子貸与+給付」型です。貸与のみ、給付のみの選択はできません。

貸与部分は卒業の半年後から20年以内に返還していただきます。経済的事情などで返還困難であることが認められた場合は、返還を先に延ばすことができます（詳しくは3ページ）。

1. 奨学金の金額（詳しくは3ページ）

(1)一般＝月額70,000円（うち貸与40,000円、給付30,000円）

(2)特別＝月額80,000円（うち貸与50,000円、給付30,000円）

【私立大学入学一時金（貸与40万円）制度もあります】

2. 奨学金を受けられる期間

2021年4月分から卒業（最短修業年限）まで。第1回目の送金は2021年6月です。

3. 送金方法

3か月ごとに3か月分の奨学金を、直接本人名義のゆうちょ銀行の口座に送金します。

○高等専門学校を卒業後大学3年に編入を希望する人は、編入後の大学在学募集で申請してください。

○高等専門学校もしくは5年一貫制高等学校の4年生に進級を希望する人は、専修・各種学校奨学生予約募集に申請してください。 ○1995年（平成7年）4月2日以降に生まれた方が対象です。

お問い合わせ・提出書類送付先 一般財団法人あしなが育英会 奨学課

〒102-8639 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階

FAX (03)3221-7676 E-mail shougaku@ashinaga.org ホームページ www.ashinaga.org

フリーダイヤル 0120-77-8565（平日9時～17時）



※このしおりは奨学金申請後も大切に保管してください

専修・各種学校進学予定のみなさんへ 2004

あしなが専修・各種学校奨学金 (無利子貸与^{たいよ}給付)

専修・各種学校奨学生予約募集のしおり【2021年度進学者用】

申込みできる方

2021年度に専修学校や各種学校へ進学、もしくは高等専門学校や5年一貫制高等学校の4年生に進級を希望している高校3年生等で、次にあてはまる生徒。

保護者（父または母など）が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または保護者が1～5級の障害認定（注1）を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。

（注1）次の障害認定を受けている場合をいいます。

身体障害者福祉法、国民年金法、厚生年金保険法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、労働者災害補償保険法に定める第1級から第5級

※ 専修・各種学校奨学生予約募集と、大学奨学生予約募集は同時に申請できません。

※ 修業年限1年未満の学校や、無認可校は対象になりません。



ASHINAGA
あしなが育英会

募集人数

130人程度

申請のしめきり

2020年6月20日（消印有効）

奨学金の内容

この奨学金は「無利子貸与+給付」型です。貸与のみ、給付のみの選択はできません。

貸与部分は卒業の半年後から20年以内に返還していただきます。経済的事情などで返還困難であることが認められた場合は、返還を先に延ばすことができます（詳しくは3ページ）。

1. 奨学金の金額

月額70,000円（うち貸与40,000円、給付30,000円）

2. 奨学金を受けられる期間

2021年4月分から卒業（最短修業年限）まで。第1回目の送金は2021年6月です。

3. 送金方法

3か月ごとに3か月分の奨学金を、直接本人名義のゆうちょ銀行の口座に送金します。

○1995年（平成7年）4月2日以降に生まれた方が対象です。

お問い合わせ・提出書類送付先 一般財団法人あしなが育英会 奨学課

〒102-8639 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階

FAX (03)3221-7676 E-mail shougaku@ashinaga.org ホームページ www.ashinaga.org

フリーダイヤル 0120-77-8565（平日9時～17時）

あしなが育英会 とは

病気や災害、自死（自殺）などで親が死亡、または障害を負っている家庭の子どもたちを物心両面で支える一般財団法人です。国などの補助金・助成金は受けず、継続してご支援くださる「あしながさん」や全国の街頭での「あしなが学生募金」などで頂いた寄付金ですべて運営しています。

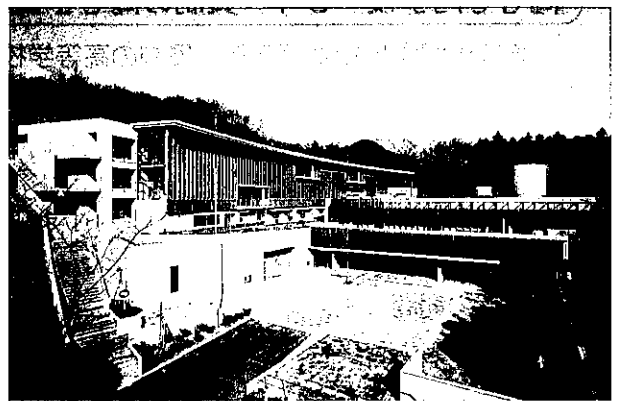
●「奨学生のつどい」

毎年夏休みに「つどい」という合宿行事を実施しています。高校奨学生の「つどい」は2泊3日の日程で、全国8会場で開催。レクリエーションや大学生との対話を通じて将来のこと、進学のこと、家族のことを考えることができる、きっかけがたくさん詰まったイベントです。また、大学・専門学校奨学生の初年度採用者を1か所に集めて行う「つどい」は4泊5日の日程で開催。有意義な学生生活を送るためにどうするかを考えてもらうため、卒業生や社会で活躍する著名人、海外の若者など多様な人材も招き、様々な刺激に触れる機会をつくっています。参加者の多くは、「つどい」で夢を見つけ、一生の仲間を得たと言ひ、参加満足度は9割を超えています。

●大学生のための学生寮「あしなが心塾」(東京)・「虹の心塾」(神戸)

東京都日野市の「あしなが心塾(こころじゅく)」と兵庫県神戸市の「虹の心塾」の2つの学生寮を運営しています。

寮費(塾費)は、光熱費なども含め朝夕の2食付きで月1万円です。しかし、ただの安宿ではありません。「あしながさん」をはじめ全国の方々のご寄付によって建てられた心塾は「世のため人のために活躍する人材の養成」の場で、豊かな人間教育と実力を養成する学生寮です。



①清掃と挨拶励行・礼儀を重んじる、②4人部屋で切磋琢磨する、③海外研修や語学講座——など、大学の授業の他にこれら心塾独自のカリキュラムに真剣に取り組み自分を鍛えれば、厳しい社会でも生き抜いていける力が育ちます。入塾(入寮)希望者は直接、それぞれの心塾にお問い合わせください。

あしなが心塾(写真) : 住所: 東京都日野市百草892-1 電話: 042-594-7766

最寄り駅: 京王線「百草園」駅から徒歩20分

虹の心塾 : 住所: 神戸市東灘区本庄町1-7-3 電話: 078-453-2418

最寄り駅: JR「甲南山手」駅から徒歩10分

●「レインボーハウス(虹の家)」での心のケア活動

阪神・淡路大震災で親を亡くした子どもたちの心に七色の虹がかかるようにと、1999年、神戸に日本初の親を亡くした子どもたちの癒しの家「神戸レインボーハウス」が完成。さらに、心のケアは病気や災害、自死などで親を亡くした子どもたちにも広がり、2006年には東京・日野市に「あしながレインボーハウス」を開設。また、東日本大震災で親を亡くした子どもたちのために「仙台レインボーハウス」、「石巻レインボーハウス」、「陸前高田レインボーハウス」が2014年にオープンしました。

「全国小中学生遺児のつどい」に参加しませんか

全国の親を亡くした子どもたちを対象にした2泊3日の「全国小中学生遺児のつどい」を「あしながレインボーハウス」(東京)で開催しています。また首都圏及び近郊などの親を亡くした子どもを対象にした日帰りプログラムも実施しています。ゲームで交流するほか、タケノコ堀りなど豊かな自然を利用したプログラムも盛りだくさん。また保護者の方々の語り合いも大切にしています。詳しくは「あしながレインボーハウス(電話042-594-2418)」にご連絡ください。